

3. 坑内掘炭鉱について

(1) 釧路コールマイン(株) (KCM)

- 国内で唯一の坑内掘炭鉱として、平成14年4月から操業を開始、平成28年度の生産量は約53万トンとなっており、主に国内石炭火力発電所に供給している。
- 平成26年2月1日、「炭鉱技術研修事業の長期継続に向けた協議会・釧路地域産炭地振興協議会」において発表した新採炭計画では、現在石炭生産を行っている鉱区から西側（沼尻層側）を新たに開発し、平成25年度以降、年間約50万トンペースで生産し、10年間で計508万トンを計画。

(2) KCMにおける国の研修事業の実施

- 平成14年度から、中国、ベトナム等の産炭国における生産・保安技術の向上を図り、我が国への安定的供給確保を図ることを目的とした産炭国の技術者の受入研修が釧路炭鉱を活用して実施されている。

[釧路コールマインにおける研修事業実績]

(単位:人)

年度		H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	合計
事業名		炭鉱技術海外移転事業					産炭国石炭産業高度化事業					産炭国石炭採掘・保安技術高度化事業					
受入 研修	中国	69	95	105	103	109	93	90	83	79	69	0	58	63	56	54	1,126
	ベトナム	77	88	103	103	111	91	116	108	102	92	143	83	82	84	84	1,467
	インドネシア														10	12	22
	(実人員)	146	183	208	206	220	184	206	191	181	161	143	141	145	150	150	2,615
派遣 研修	中国	10	17	24	19	19	8	29	32	33	25	0	15	12	4	3	250
	ベトナム	35	40	50	85	115	165	202	244	183	374	429	492	457	230	169	3,270
	インドネシア	0	8	12	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44
	(延人員)	45	65	86	116	146	173	231	276	216	399	429	507	469	234	172	3,564

※ H14～ H18 : 「炭鉱技術海外移転事業」、 H19～ H23 : 「産炭国石炭産業高度化事業」

H24～ H28 : 「産炭国石炭採掘・保安技術高度化事業」

H29～ : 「産炭国に対する石炭採掘・保安に関する技術移転等事業」